帝国主義と条約改正

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿ 日

飛鳥　奈良　平安　鎌倉　室町　安土桃山　江戸　**明治**　大正

今日の問い

列強が世界に進出するなか、日本はどのようにして不平等条約を改正したのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 帝国主義の時代

列強の世界進出

2 軍事力や経済力で、他地域を植民地にしようとする動き。

1 強い軍事力・経済力をもち、世界に進出した欧米の国々。

11 ＿＿＿＿ 列強が支配し、資源や市場として利用した地域。

19世紀後半、欧米の強国である ＿＿＿＿[1] は、軍事力や経済力でほかの地域を自分たちの市場や原料の供給地にしようとした。この動きを ＿＿＿＿[2] という。列強は現地の人々の抵抗を武力でおさえながら、＿＿＿＿[3] の大部分を植民地として分け合い、インドや東南アジアなど、アジアの各地にも支配を広げていった。

このころの日本は、幕末に結んだ不平等条約をまだ改正できていなかった。日本で罪をおかした外国人を、その国の領事が自国の法律で裁く ＿＿＿＿[4] が認められ、輸入品にかける税の率を自分の国で決める ＿＿＿＿[5] もなかった。条約の改正は、国の独立を守り、列強と対等な地位に立つための大きな目標だった。

2 条約改正の達成

陸奥宗光・小村寿太郎

6 欧化政策のもと、東京に建てられた洋風の社交場。

8 1894年、領事裁判権の撤廃に成功した外務大臣。

10 1911年、関税自主権の回復に成功した外務大臣。

政府は欧化政策を進め、東京に ＿＿＿＿[6] を建てて舞踏会を開くなど、欧米風の生活をまねて見せることで、列強に対等な国だと認めてもらおうとした。しかし1886年の ＿＿＿＿[7] で、イギリス人船長らがボートで逃げて日本人乗客が全員おぼれ死んだのに、領事裁判で船長は軽い罰ですんだ。このため、条約改正を求める声が国内で大きく高まった。

1894年、外務大臣の ＿＿＿＿[8] は ＿＿＿＿[9] を結び、＿＿＿＿[4] の撤廃に成功した。さらに1911年、外務大臣の ＿＿＿＿[10] がアメリカなどとの条約を改正し、＿＿＿＿[5] の回復を実現した。こうして幕末に結んだ不平等条約の改正が達成され、日本は条約の上で列強と対等な立場に立った。

年	条約改正の歩み
1883年	東京に ＿＿＿＿[6] を建てる
1894年	＿＿＿＿[8] が領事裁判権を撤廃
1911年	＿＿＿＿[10] が関税自主権を回復

できた ＿＿＿ / 11

ちりつもドリル
学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。